

自治会長研修

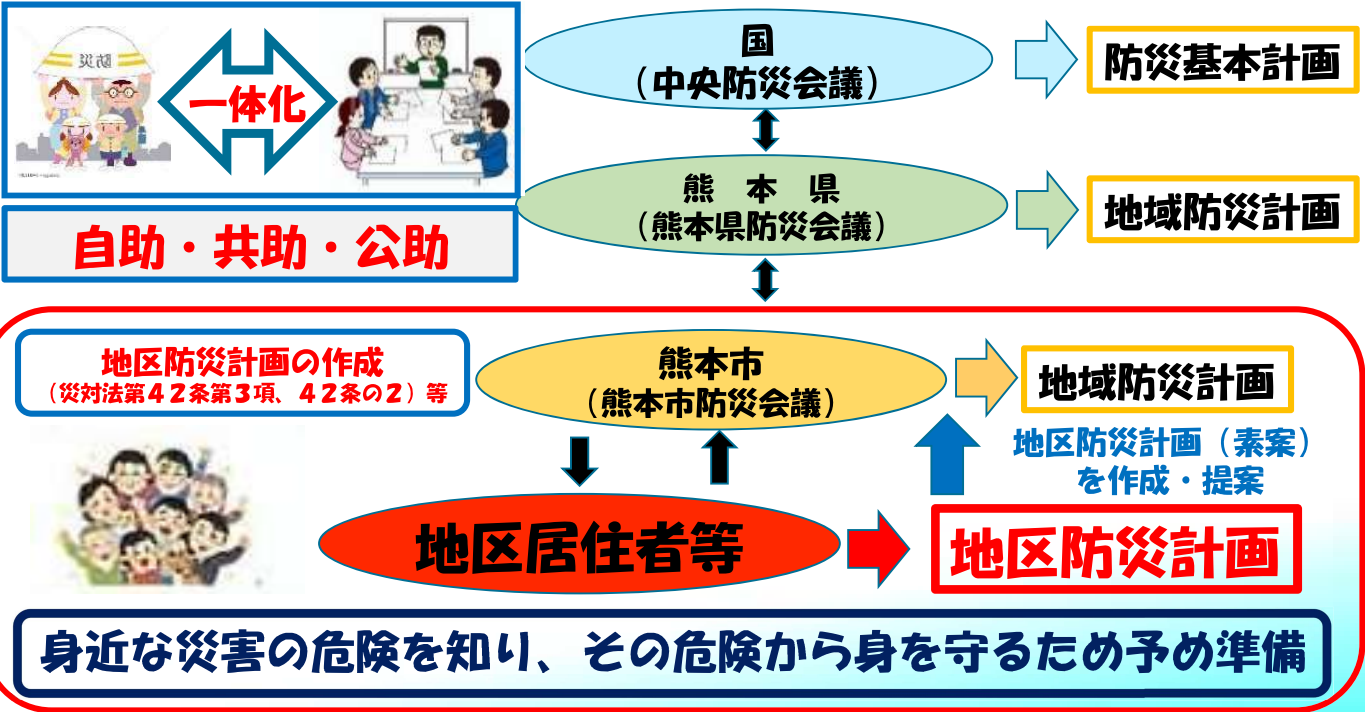
総務企画課 総務班（防災） 古庄

本日の研修項目

- ・ 地区防災計画について
- ・ 防災行政無線放送の確認について
- ・ 被災者支援制度について

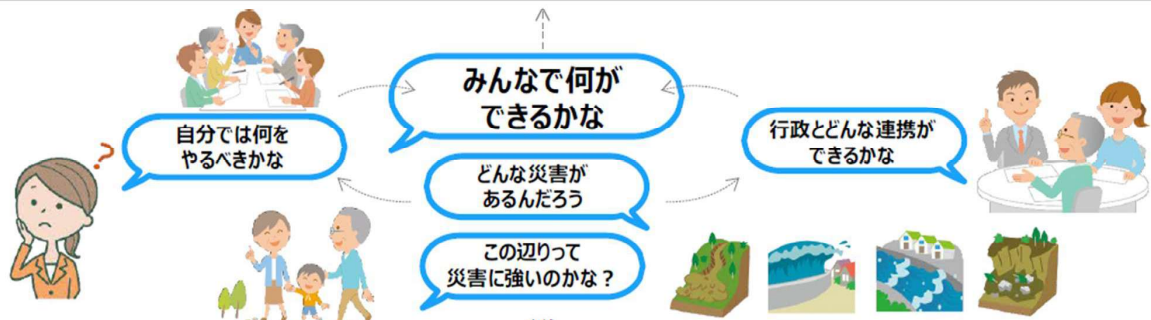
地区防災計画の制度等

東日本大震災の教訓から平成26年4月に災害対策基本法が改正「地区防災計画制度」がスタート、地区居住者等が、地区防災計画を作成し、市町村の地域防災計画に地区防災計画を定めるよう提案できるようになりました。



地区防災計画の内容

地区に応じた計画づくりが可能です！
地域コミュニティの維持・活性化！



文献
 内閣府, 2014, 『地区防災計画ガイドライン～地域防災力の向上と地域コミュニティの活性化に向けて～ (概要)』。
 西澤雅道・岡井智士, 2014, 『地区防災計画制度入門—内閣府「地区防災計画ガイドライン」の解説とQ&A』NTT出版。

西区の地区防災計画は総論と各論

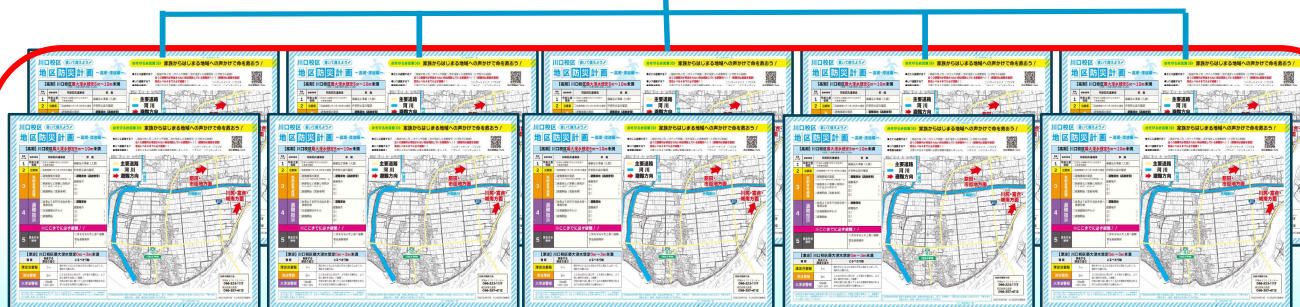
総論

地区防災計画

〇〇校区
令和〇年作成

校区防災・防災士の
会等で作成

地域防災計画へ掲載



各論 ⇒ 各町内自治会単位で防災計画作成・配布
(隣接・災害リスクが共有出来る町内は合同作成も可能)

<参考例の項目一覧>

大項目	小項目
表紙	計画の名称
	基本方針
地区の概要	地区の特性（計画対象範囲、社会特性、災害リスク等）
	今後想定される災害
防災活動	活動方針（平時・災害時）
	活動体制
	平常時における防災活動（活動スケジュール）
	災害時における防災活動
地区防災マップ	中長期的な活動予定（中長期的な活動目標と課題）
	ハザードマップの活用
	危険箇所・防災設備や災害時要配慮者の把握
防災関係施設・資機材リスト	避難所位置や避難経路
	避難所リスト
	関係機関等連絡先リスト
地区防災タイムライン	保有防災資機材リスト
	水害版タイムライン、地震版タイムライン

地域版ハザードマップって何？

「地域版ハザードマップ」とは、行政が配布している洪水・高潮ハザードマップ等を基に、過去に起こった災害情報をはじめ、地域で想定される危険箇所や避難場所までの経路及び注意することなどを自分たちの手でマップに記したものです。



POINT

地域を
災害の視点から
見つめ直す
きっかけに
しましょう！

取り組みの
目的

最大の目的は、みんなで地域の災害について学ぶ！
地域のコミュニティ強化に！

「地域版ハザードマップ」は災害を自分自身の問題ととらえ、住んでいる地域で早期避難のヒントをマップにする取り組み。完成したマップは住民が協力し合って作り出した早期避難のヒントであり、行政が配布するハザードマップとは異なっても全く問題ありません。マップ作成を地域の災害について学ぶ場にしましょう。

**支援等の要望があれば、各校区等に出向き
ワークショップ等の支援を行います。
(夜間及び休日の支援も可能です。)**



防災行政無線無線放送確認ダイヤルについて

防災行政無線放送確認ダイヤルについて

※防災行政無線放送確認ダイヤルとは、防災行政無線で放送された24時間以内の放送内容を電話で確認できるサービスです。

※防災行政無線放送確認ダイヤル 096-351-6361

※回線が混み合っている場合は、繋がらない場合があります。少し時間をおいてからお掛け直してください。

※問い合わせ先 危機管理防災部 防災対策課 (096-328-2360)

被災者支援制度について



令和7年8月10日からの大雨に対する被災者支援制度

最終更新日：2026年2月19日 印刷

(ID:65801)

1. り災証明書の発行 ↓ 2. 経済的な支援 ↓ 3. 住まいの確保・再

5. 各種減免・支払いの猶予 ↓ 6. 事業者に関すること ↓ その他

令和7年8月の大雨における、被災された皆さまに対する支援制度をまとめました。支援内容は随時更新いたしますので、詳細は各メニューのリンク先でご確認。全体PDF版はこちら → 【第8版】被災者支援メニュー (20260219時点) (I

1. り災証明書の発行

支援内容	担当課	注
り災証明書の発行 (住家) ※店舗兼住宅も含む	健康福祉政策課	0

※熊本市ホームページ上で、被災者支援制度とご検索ください。

※情報はおよそ1週間程度で更新されます。

※自治会長からのご要望があれば、必要な冊子をお渡しします。